

1 主題名 自分や相手の安全を考えて A 善悪の判断、自立、自由と責任

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本学習は、「自他の安全に気をつけて、自立的で責任のある行動を心がける意欲を育てる」ことをねらいとしている。高学年になると、自主的に考えて行動しようとする傾向が強まる一方で、自分の思いが伝わっていると思い込んで、相手や周囲の人々のことを考えずに一人よがりな行動をすることがある。児童が、周囲の人に配慮し、的確に善悪を判断することの大切さについて考える機会是不可欠である。また、児童がインターネット社会を生きていく上での基礎的な対応力を培うために、自分の日常生活を振り返り、注意すべき点について考える機会が必要であると考え、本主題を設定した。

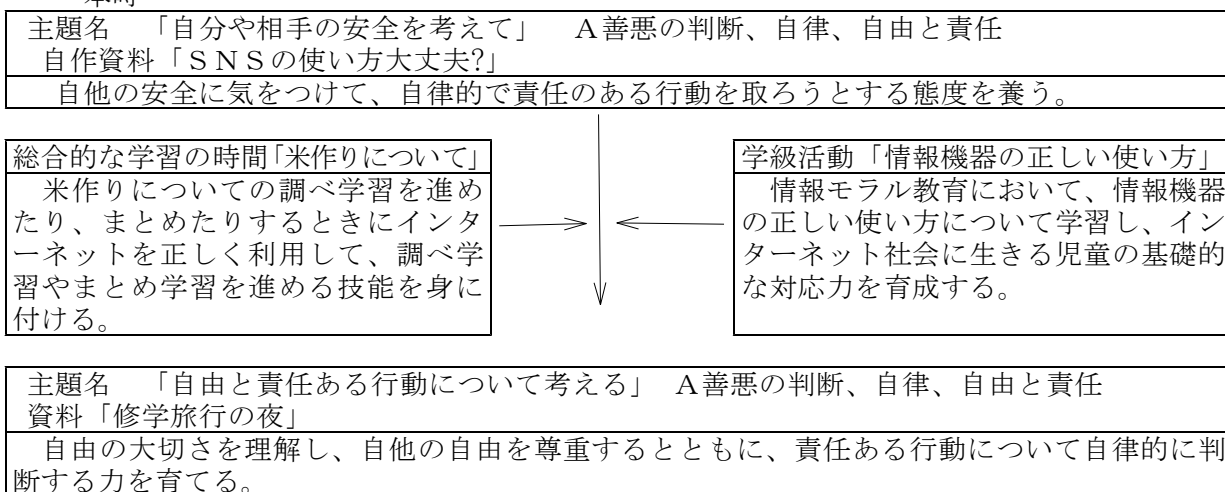
(2) 児童の実態について

本学級の児童は、行事や委員会で最高学年として活動し、責任をもってやり遂げる体験を重ねている。学習にも意欲的で、授業中の発言も多い。しかし、慣れ親しんだ気安さから相手の気持ちを考えない発言でトラブルになったり、逆に必要のない付度をして関係をこじらせたりする場面があり、節度をもった友達との付き合い方が課題となっている。

今年度は、1人1台タブレット端末を学習の中で日常的に活用するようになり、リモートでの話し合いやチャットなどでの交流の練習を行っている。児童は、習い事などの関係で携帯電話を所持している児童も多く、保護者同士でもSNSサービスでの連絡を活用しているため、児童にとってLINEやメールでの交流は身近なものとなっている。これらのことから、情報を発信したり受け取ったりする場面を通して、物事の善悪に対して的確に判断し、日常生活に生かそうとする態度を養いたいと考えた。

3 他の教科活動との関わり

本時



4 指導観

インターネットでのトラブルに関する資料であることから、インターネットに関する一般的なトラブルを紹介した上で、具体的な事例とそのときの気持ちについて議論する。

会話を始めたきっかけは「仲良くしたい」という気持ちであったことを押さえ、相手の気持ちを理解させる。その上で、なぜトラブルになってしまったのか考えさせて議論を深め、SNSやインターネットを使うときに気をつけなければならないことと合わせて、規則やルールを守り、責任と規律ある行動をとろうとすることの大切さについて考えさせる。自分事として考えさせるために、どこがいけなかったのかをワークシートに書かせ、自分の考えをきちんと持って議論し、考えを深めさせる。

5 本時の指導

(1) ねらい

- ・携帯電話・スマートフォンのメールやLINEは便利な一方で、自分自身や相手を守るためには注意が必要であることに気付き、責任と規律ある行動をとろうとする態度を養う。

(2) 準備・資料

ア アンケート結果 イ 会話例のスライド ウ ワークシート エ めあてカード

(3) 展開 (個)：個に応じた支援 (情)：情報活用能力を育成するための支援 (評)：評価

段階	主な活動と発問	予想される児童の反応	資料	教師の支援・評価
導入 10分	1 事前のアンケート結果から気付いたことについて話し合う。	・アンケート結果を確認し、メールやLINEが便利である一方で、心配なこともあることに気付くことができるようにする。	ア	・メールやLINEの使い方についての課題を自ら見つけようとしている。 (観察)
展開 25分	2 LINEやメールの問題点とその理由について考える。 S N S の使い方大丈夫？ ①友達からのLINEに返信するとき (例1) (A) 髪を切ったんだ。  その髪型 よくない (例2) (A) みんなで 買い物に行こう。 (B) いいね。 (C) 楽しみ！ Cちゃんは、何で来るの？ ②知らない人からメールが来たとき 携帯を変えたよ。 新しいアドレスに返信してね。 あれ？〇〇さんじゃないのかな。 違ってたら「違う」と連絡して。 3 LINEやメールを使うときの注意点やよりよい使い方について話し合う。	・LINEのやりとりをスライドにして提示することによって、問題点をとらえやすくする。 ・悪意のない読み方と悪意のある読み方の2通りあることに気が付くように、声に出して読むことを勧める。 (個) 例1や例2について、自分がどう感じたかを考えるように助言する。 (情) 文字が中心のコミュニケーションで気を付けなければならないことについて考えるだけでなく、表現の仕方やその後の対処の仕方を具体的に考えるように助言する。 ・つい返事をしたくなってしまう心の動きについて考えるようにする。 (情) このメールに返事をしてはいけない理由を考え、具体的な対処法について話し合うようにする。	イ ウ	日常生活と関連付けて考えたことを伝え合って、自分なりに解決方法を考えている。 (ワークシート・観察) 個人情報がもれないように注意すべきことに気付き、具体的な対処の仕方を理解している。 (ワークシート・観察)
終末 10分	4 これからメールやLINEを使うときの自分のめあてを作る。	・自分が実践できるように、具体的なめあてを書くように助言する。 ・携帯電話・スマートフォンを持っていない児童には、今後所持したときのことを考えて書くよう助言する。	エ	(評) 情報及び情報技術の活用について、日常生活の中で自分に合ったよりよい使い方を考えている。 (ワークシート・観察)